

第15回「JTB交流創造賞」決まる

最優秀賞

漁師が地元の海をまるごと魅せる！ 漁船クルーズで町を活性化

岩手県山田町

マリン・ツーリズム山田



漁師の船で行く山田湾クルーズ



養殖いかだ見学コースの様子

「マリン・ツーリズム山田」のブランド化と、漁業の復興は、2005年ごろ地元の漁師たちで結成された。当初は県内の子どもたちへの養殖漁業体験を目的に活動していた。11年の震災を境に一度は活動を中止するも、16年夏に新生「マリン・ツーリズム山田」として再スタート。再開後は、県外からも多くの人々を受け入れ、漁業を中心とする観光体験を展開している。

◆16年の再開以降、着実に取り組みでは山田町の資源規模を拡大しており、19年9

観光客と漁師に相乗効果

月時点を千人以上を受け入れ、再開当初の約3倍、地元の人々のエネルギーが交流の源流としてしっかりと根付

◆復興支援のみならず、真に地域の人と資源、そしてアイデアによって活動を盛り上げ、思いを見えに、観光客を巻き込むことに成功している。今後の事業予定からもさらなる発展が期待できる。

受賞の喜び



活動をサポートするやまだワンダフル体験センターのユウコさん。服部真理さん。正直に言うと応募したのは百万円の賞金が目当て(笑)。これでいろいろの準備品をそろえられる。

JTBは16日、第15回「JTB交流創造賞」の受賞作品を発表した。新たな知恵や特性を生かした観光交流、地域活性化の取り組みを表彰する「組織・団体部門」では、マリン・ツーリズム山田(岩手県山田町)の「漁師が地元の海をまるごと魅せる！漁船クルーズで町を活性化」が最優秀賞に決まった。JTB交流創造賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的として2005年に創設された。

1月16日に開催された授賞式の様子



「持続可能な観光」を応援

まずは、受賞された皆さまにお祝い申し上げます。JTBグループは、JTBならではのソリューション(商品、サービス、情報および仕組み)の提供により、地球を舞台にあらゆる交流を創造し、お客さまの感動・共感を呼び起こす「交流創造事業」を事業ドメインとして掲げ、グループをあげて第三の創業にチャレンジしております。「JTB交流創造賞」は2005年に創設し、今年度で15回目を迎えることができました。JTB交流創造賞の大きな特徴は、地域の独自性が生かされ、今後の発展が期待できる「持続可能な観光」を応援する賞だということです。

◆今回も各地における観光振興に対する斬新な取り組みを表彰し、交流を創造することに寄与してまいります。受賞地域の「これから」に、ぜひご期待ください。



JTB 社長執行役員 高橋広行

選考委員特別賞

世界一ビールが楽しいまち遠野・ ビールの里実現に向けた取り組み

岩手県遠野市

株式会社BrewGood(ビールの里まちづくり協議会事務局)

ビールの原料に欠かせないホップの日本有数の栽培地である岩手県遠野市。56年の歴史があり、今も日本一の栽培面積を誇る一方、高齢化や人口減少により、遠野市のビール産業は深刻な状況に陥っており、日本全国のビール産地を巻き込み、遠野市を「ビールの里」にするべく、2015年から「ホップの里」を掲げている。18年10月からは「ビールの里」構想を積極的に推進し、地元産ホップの活用を促している。若手ホッパーや移住者なども増えており、遠野市を目標に多角的な取り組みを行っている。



ビアツーリズム

6次産業を体系化

◆「評価のポイント」
◆ホップ栽培が直産する可能性を高め、さらなる可能性へとつながっている。北海道や青森のホップ農家も遠野市同様状況は深刻化しており、日本全国でも農業の衰退や後継者不足に悩む地域は多いが、今回の取り組みはこのモデルケースとして着目すべき。

優秀賞

JR三江線の廃止を乗り越え “天空の駅” 一帯を廃線の聖地に

島根県邑南町

旧服部医院を再活用する会

2018年3月に廃線となったJR三江線の邑南町にあつたJR三浦駅跡地。その周りに施設一帯を観光と交流の拠点として盛り上げていく取り組みが評価されている。宇都井駅跡地は日本一高い駅舎(地上20m)として、天の駅と呼ばれ、また、周辺の観光資源を再発見し、再活用している。近年は人口減少が進み、高齢化率は50%の限界集落となっており、宇都井駅跡地を再発見し、再活用している。近年は人口減少が進み、高齢化率は50%の限界集落となっており、宇都井駅跡地を再発見し、再活用している。



旧JR三江線宇都井駅

人々の交流を生み出す

◆象徴的な観光遺産や里山の風景、地区の歴史、クラフトファンディング、鉄道公園構想など、地域資源を活用した交流の促進や活性化、そして持続可能な観光地化計画など、地域が一体となった積極的なプロジェクトとなっている。

優秀賞

映画×文化×まち 新しいことをカタチに！ 日本最古級の映画館「高田世界館」の挑戦。

新潟県上越市

NPO法人 街なか映画館再生委員会

新潟県上越市高田地区で、111年(明治44年)に創業した「高田世界館」を再生させることを目指している。NPO法人「街なか映画館再生委員会」は、地域の活性化の力をもち、高田世界館の再生活動を行っている。高田世界館は、日本最古級の映画館として、有数の歴史遺産であり、有文化財である。「高田世界館」の魅力を活用し、発信していくことで、映画館だけでなく、人々の交流の場として、再生させることを目指している。



有形文化財の高田世界館

まちのにぎわい創出

◆再生を遂げる高田地区で、そのランドマークとしても注目を集め、今後地域と観光客の交流のハブとして期待できる。また、このような地域市民主体での文化・芸術的取り組みの存在意義は大きいと考える。

JTBは、地域・文化・人との新しい出会い、「交流創造」を支援・推進します。

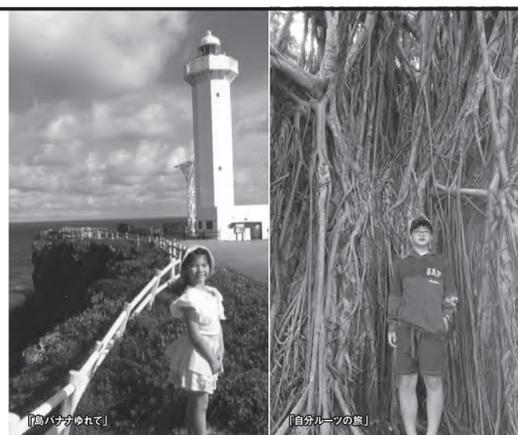
JTB交流創造賞

JTB交流創造賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と地域の活性化に寄与することを目的として、2005年に創設されました。以来、10年以上にわたり、地域・文化そして人との新しい出会いを応援すると共に、地域の取り組みを表彰しています。第15回「JTB交流創造賞」では、多数のご応募をいただき、ありがとうございました。これからも本賞を通じて、様々な交流の広がりや地域の発展に寄与してまいります。



「漁師が地元の海をまるごと魅せる」漁船クルーズで町を活性化

「カールの次はカール」



「島ハナチゆれて」

「自分ルーツの底」

JTB交流創造賞

検索

JTB

感動のそばに、いつも。